

(参考1) 愛知県におけるスマート農業の実証状況

1 国費事業名：スマート農業実証プロジェクト

生産者、県（普及組織、試験研究）、農業団体、民間企業等で構成される実証グループ（コンソーシアム）が、国の研究機関である国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）からの委託を受けて、スマート農業技術の実証を行う。事業期間は2年間。

年度	実証グループ	地域	取組内容
2019 ～ 2020	日本をリードする施設キュウリスマート農業実証コンソーシアム	西尾市	キュウリの養液栽培における環境制御技術の確立及び栽培管理の最適化、養液土耕栽培での活用。労働時間の把握及び生育予測との連動による作業時間の削減。
2020 ～ 2021	次世代を担う豊川スプレームスマート農業コンソーシアム	豊川市	ICTを利用した作付計画作成。作付計画に基づいた雇用管理。栽培に最適な環境管理を統合環境制御装置で実証。実証で得たデータをもとに、環境と生育の要因分析を行い、スプレーグク版の最適環境制御モデルを作成。
2021 ～ 2022	日本をリードするJA西三河きゅうり部会スマート農業実証コンソーシアム	西尾市	ICTを活用した出荷量予測や需要予測を用いた配送の適正化、安定販売に関する取組の実証。

2 国費事業名：次世代につなぐ営農体系確立支援事業

産地において生産者、県、市町村、農業団体、民間企業等を構成員として「協議会」を設置し、スマート農業技術等を組み込んだ新たな営農技術体系を検討・検証。

年度	取組主体	地域	取組内容
2019	名古屋市水田農業活性化対策協議会	名古屋市	数少ない担い手が大面積の管理作業を効率よく行うため、GPS ガイダンスシステム搭載トラクタ等を活用した水田作営農体系を検証
	れんこん産地協議会	愛西市	レンコン栽培における防除作業の労働負担の軽減・効率化を図るため、リモートセンシング、無人航空機を活用した営農体系を検証
	田原大玉トマト活性化協議会	田原市	生産者間の収量・品質のばらつきを是正し安定生産するため、環境モニタリングデータや営農管理システム等を活用した営農体系を検証

年度	取組主体	地域	取組内容
2020	小牧市スマート農業推進研究会	小牧市	モモ・ブドウ産地の高齢化及び大規模化に対応するため、自律多機能ロボットによる作業省力化やドローンによるカラスの追払いを核とした営農技術体系を検証
	美浜きゅうり技術改善協議会	美浜町 常滑市 南知多町	既存の環境モニタリングに加え、日射量や土壌水分量等の分析データに基づく新たな栽培管理手法を検証し、さらに地域やほ場に合った営農体系を検証
	スマート農業協議会	豊田市 みよし市	アシストスーツやロボット型草刈機、ドローンによる鳥獣被害防止技術等の導入を検証し、果樹栽培管理作業の軽量化・効率化及び精度を向上する営農体系を検証
	田原市オオバ活性化協議会	田原市	環境モニタリングデータと生育調査に基づくオオバ独自の生育診断指標により、労力削減と年間収量の増加を目指した長期作型への変更を検証
2021	安城市JAあいち中央ハウスいちじく協議会	安城市	篤農家の環境モニタリングデータを活用したハウスイチジク栽培の高位平準化
	田原市スイートピー生産供給力向上協議会	田原市	環境モニタリングシステムを活用した栽培管理モデルを策定し、産地全体の技術力向上を図る営農体系を検証